情報活用型プロジェクト学習単元計画シート

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学年 教科 |  | 単元 教材名 |  | 期間 |  |
| 授業者 |  | | | 教室 |  |

４つのゴール

|  |  |
| --- | --- |
| 単元のねらい | ミッション |
| ・単元目標を書く | ・誰に対して（相手・自分たち）、何のために？（目的） |
| 制作物 | 思考ポイント |
| ・どんなものを誰と（個人？グループ？）つくるか | ・情報整理や制作の過程でもっとも考えてほしいこと |

学びの質ルーブリック（制作物・パフォーマンスを評価する視点）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | S | A | B | C |
| 思考  （　　　　） | ゴールにマッチした情報の洗練 | 教科目標に応じた情報の理解 | 不正確・不十分な情報の関係づけ | 情報の不足や間違い |
|  |  |  |  |
| 表現  （　　　　） | 相手・目的にマッチした表現の工夫 | 伝えたいことを適切に表現 | 意図はあるが適切ではない表現 | 意図が不明確・未完成な表現 |
|  |  |  |  |

その気にさせる問いと出会い方

（出会い）ミッションを意識させる導入

（問い）思考ポイントにつながる学習課題



|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階（時間） 活動イメージ | 情報 （内容リスト） | 指導事項 （説明と観点） | 学習活動 （時系列） | 深める手立て （観点と方法） |
| 収集（　）  何を使ってどんなことを調べる？ | 調べる手段・素材 | 課題明確化・取捨選択の視点 | テーマ・役割分担、収集の仕方 | 観点で見直し、必要なら再収集 |
| ・教師が用意する図書、資料  ・学習者が調べる手段（Web、インタビュー、調査、実験、観察）  ・使用する道具(PC、デジカメ、ワークシート) | ・課題を詳細化する視点  ・調べる際の留意点（出典、撮影、記録の仕方）  ・集める際の取捨選択の視点 | 1. テーマから調べることを具体化する方法（個?班?） 2. 調べる活動（道具、記録の仕方） | ・調べた情報を共有、吟味する方法（班で共有？クラスで共有？）  ・不要な情報、欠けている情報に気づかせる手立て（相互評価、振り返りの視点） |
| 編集（　）  何で整理し、どんな制作物をつくる？ | 集めた情報の内容・形式 | 整理する視点、表現の配慮点 | 整理・表現のツール、活動単位 | 視点をもとに自己or相互評価 |
| ・集めた情報はどのように記録されているか（ワークシート、付せん、録画・録音等）  ・情報を整理する際の道具は何か  ・制作物をつくる際の道具は何か | ・情報を整理する際の思考ポイント・マップとの対応  ・制作物をつくる際の留意点（表現ツリーから） | 1. 情報整理を誰と、どんなツールを使って行うか 2. 整理した結果から制作物を誰と、どのようなステップで行うか | ・情報整理の結果を自己評価、相互評価する際の視点、方法  ・制作物を改善していく際の視点、方法 |
| 発信（　）  誰に、どのように制作物を伝える？ | 児童の制作物、場・道具の設定 | 発表、質疑や聞き方の留意点 | 発表する側、聞く側のやること | 伝わったことの振り返り |
| ・どんな制作物がどのようなメディアに記録されているか  ・どんな場面でどんな道具を使って伝えるのか | ・発表する際の留意点（表現ツリー）  ・聞き方の留意点（メモの仕方、どんな内容に気をつけるか） | 1. 誰がどのように発表していくのか 2. 聞く側はどのようにメモや質問をするか | ・何が伝わり、何が伝わらなかったのかの確認（発信相手からのフィードバック、自分たちでふりかえり）  ・単元全体の学びのふりかえり |